

企業の出勤状況調査（2022年4月分）

<アンケート結果総括>

■集計結果概要

- ・概ね8割の企業がテレワークに、6割の企業が時差出勤に取り組んでいる。
- ・テレワーク・時差出勤の実施は、3月と比較し、6割以上の企業が同程度、1~2割が縮小。
- ・従業員が6割以上出勤している企業は、全体の6割程度。
- ・事業所全体で最も出社人数が多い時間帯として、「8:30~8:59」が最も多く、最多出勤時間帯が「8:30~8:59」「9:00~9:29」の企業が全体の5割程度を占めている。
- ・鉄道で通勤している回答者の約7割が、3月と比較して混んでいると感じている。

- 3月以前から引き続き、多くの企業の皆様には、テレワークや時差出勤を始めとするスムーズビズの実施にご協力いただいております。
- 一方、まん延防止等重点措置の解除に伴い、テレワークや時差出勤について、取組を縮小される企業もみられました。
- テレワークや時差通勤を始めとするスムーズビズの実施は、新型コロナウイルス感染症の再拡大防止にも役立ちます。引き続き、スムーズビズにご協力をお願いします。

- ・調査にご協力いただき、ありがとうございました。
- ・引き続き、定期的に調査を行い、登録企業の皆さまの取組状況把握に努め、都の取組検討に活用してまいります。
- ・今後とも、アンケートへのご協力をお願いいたします。

企業の出勤状況調査（2022年4月分）

<実施概要>

■対象：約56,000社（スムーズBiz・時差Biz及び2020TDM推進プロジェクト登録企業、スムーズBiz実践期間の事後アンケート回答企業）

■実施期間：2022年5月16日（月）～5月27日（金）

■質問項目（全7問）

Q1 2022年4月の取組内容

Q2 2022年3月と比較した、テレワーク・時差出勤への取組規模

Q3 Q1で「特に取り組んでいない」と回答した事業所の方のうち、実施しなかった理由

Q4 2022年4月の従業員の出勤割合

Q5 事業所全体で最も出社人数が多い時間帯

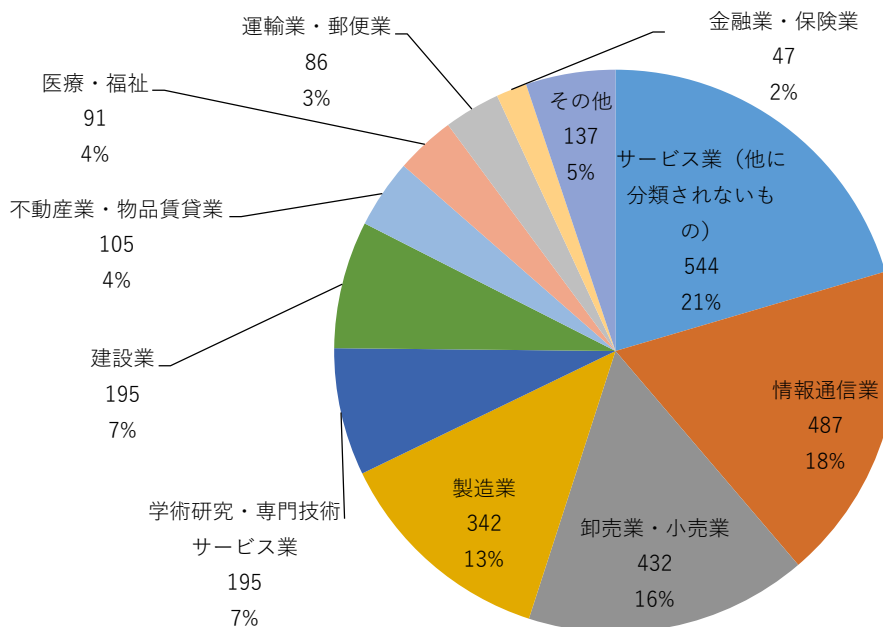
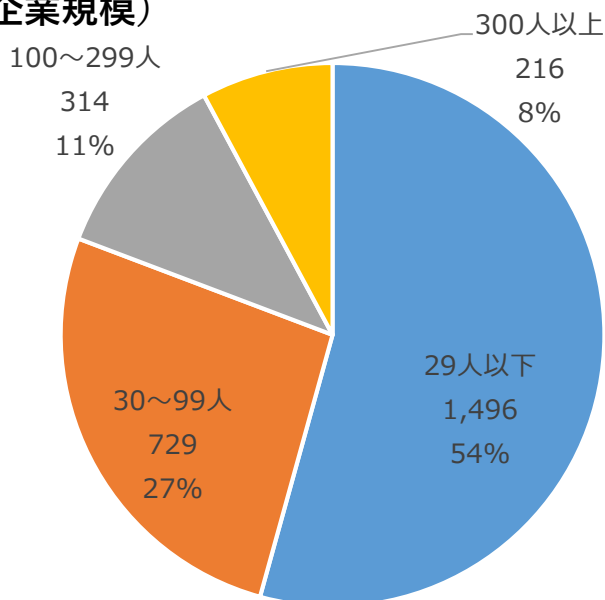
Q6 2022年度から新たに制度化・導入した取組

Q7（アンケート回答者に対して）活用している制度・現在の出社時刻・通勤方法・混雑具合（鉄道利用者）

■総回答企業数：2,755社（前回調査：1,740社）

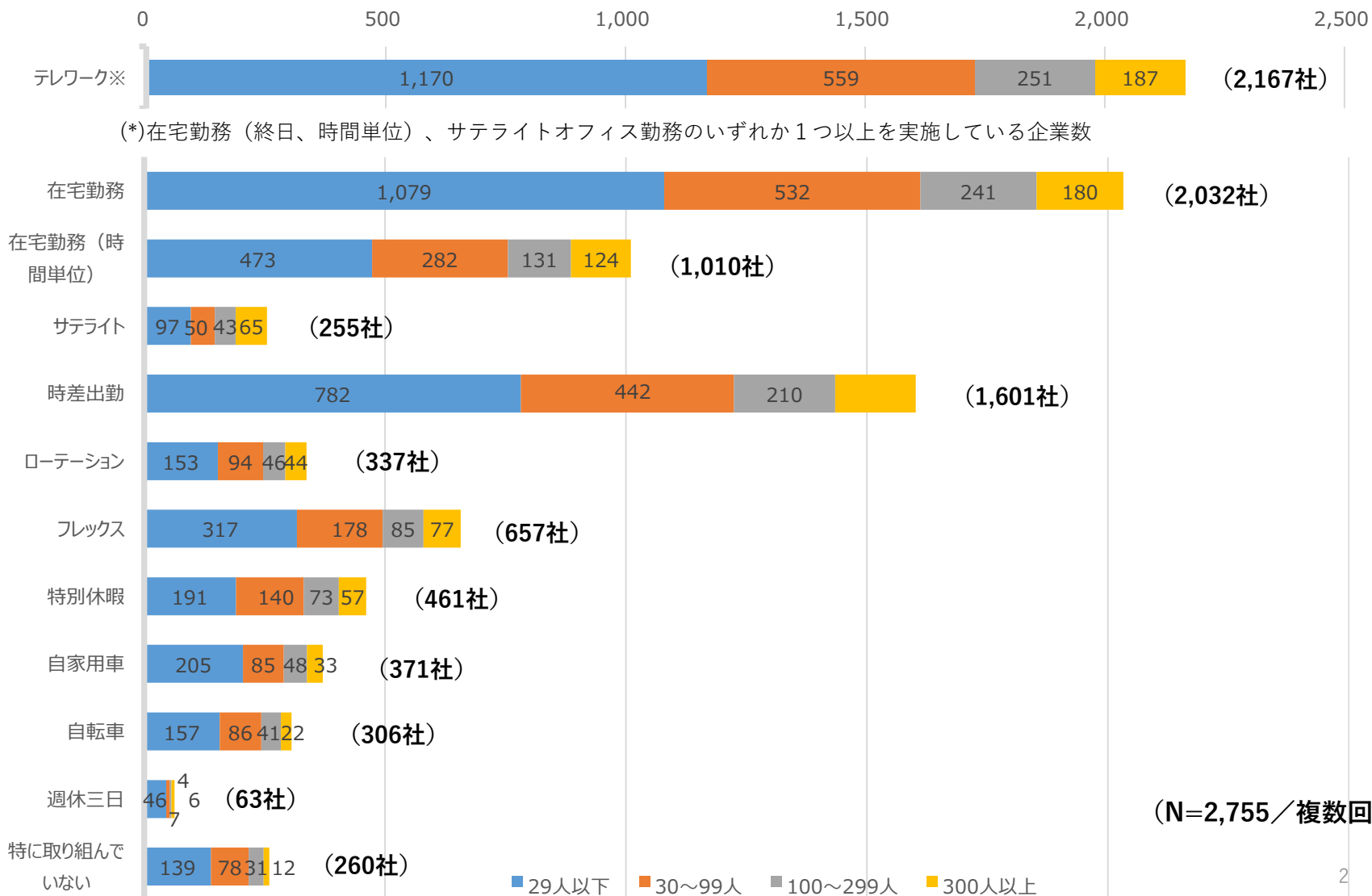
■回答企業の属性（N=2,755）（注）各計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計等に一致しないことがある。

（企業規模）



■Q1：2022年4月の取組内容

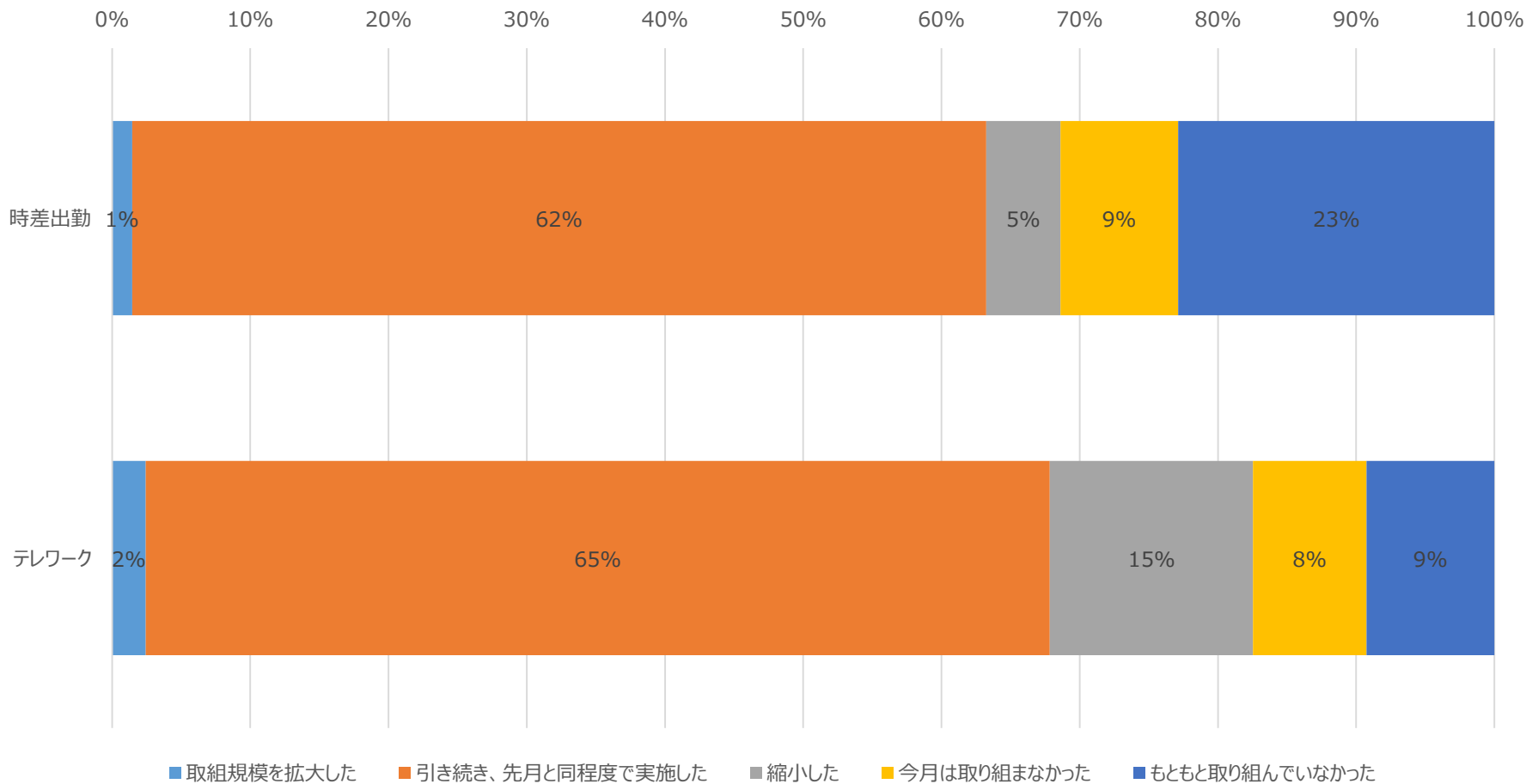
○2022年4月の取組企業数（複数回答）
 ○全体の約8割の企業が、テレワークに取り組んでいる。
 ○テレワーク以外では、時差出勤を実施している企業が、約1,600社と全体の約6割となっている。
 ○一方で、全体の約1割の企業は「特に取り組んでいない」と回答している。



(N=2,755 / 複数回答)

■Q2：2022年3月と比較した、テレワーク・時差出勤への取組規模

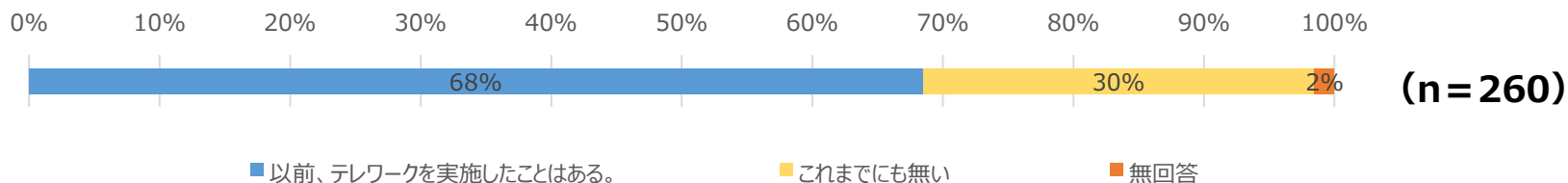
○2022年3月と比較したテレワーク・時差出勤の取組規模。
○時差出勤、テレワークともに6割以上の企業が、「引き続き、先月と同程度で実施した」と回答。
○時差出勤、テレワークともに1～2割程度の企業が、「先月よりも縮小」「今月は取り組まなかった」と回答。



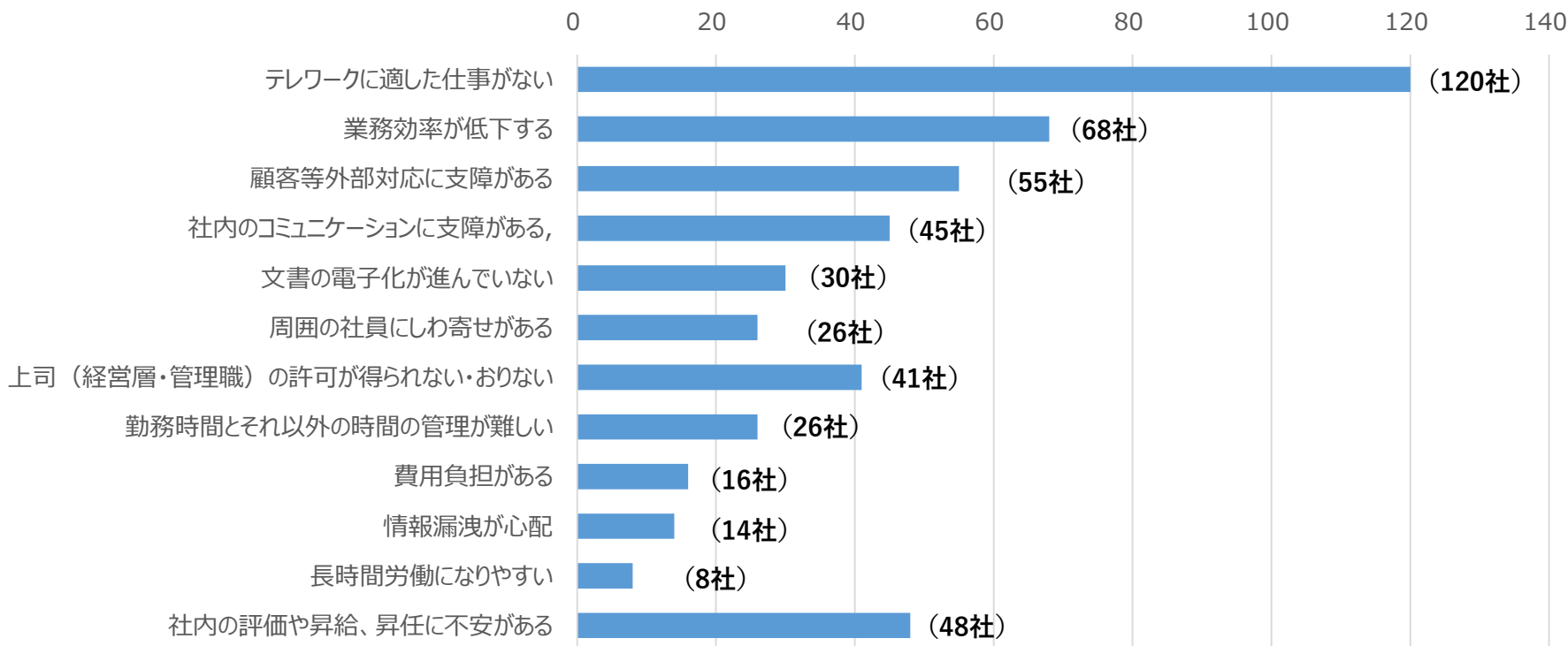
(N=2,755)

■Q3：テレワークの実施状況、未実施理由

○Q1において、「特に取り組んでいない」と回答した企業（260社）のこれまでの実施状況。
 ○「特に取り組んでいない」企業のうち、約7割は「以前、テレワークを実施したことはある」と回答。

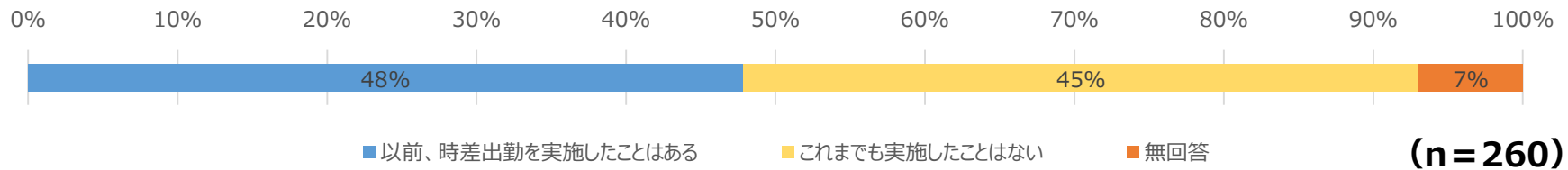


○Q1において、「特に取り組んでいない」と回答した企業（260社）のテレワークの未実施理由。
 ○テレワークの未実施理由について、「テレワークに適した仕事がない」と回答する企業が最も多い。
 その一方で「上司の許可が得られない」や「社内評価や昇給に不安」と回答する企業も一定数存在する。（複数回答）



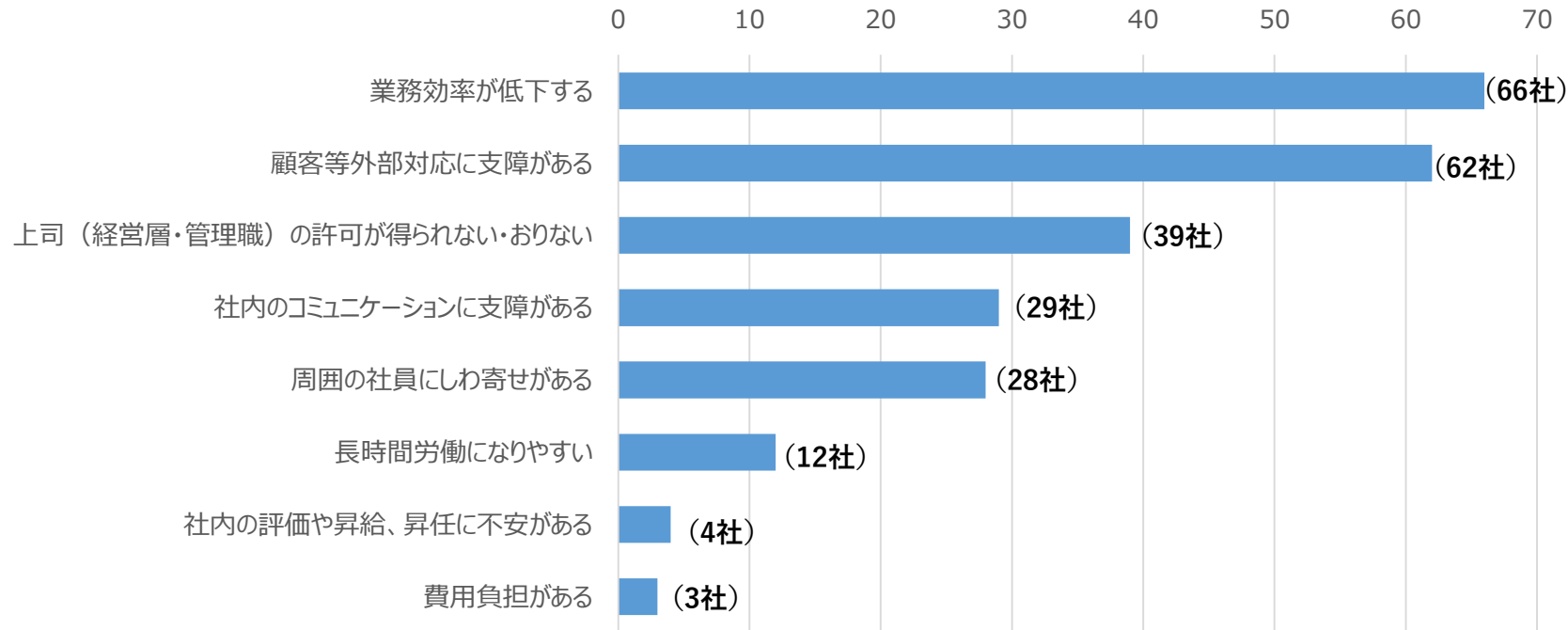
■ Q3：時差出勤の実施状況、未実施理由

○Q1において、「特に取り組んでいない」と回答した企業（260社）のこれまでの実施状況。
○「特に取り組んでいない」企業のうち、約半数が「以前、時差出勤を実施したことはある」と回答。



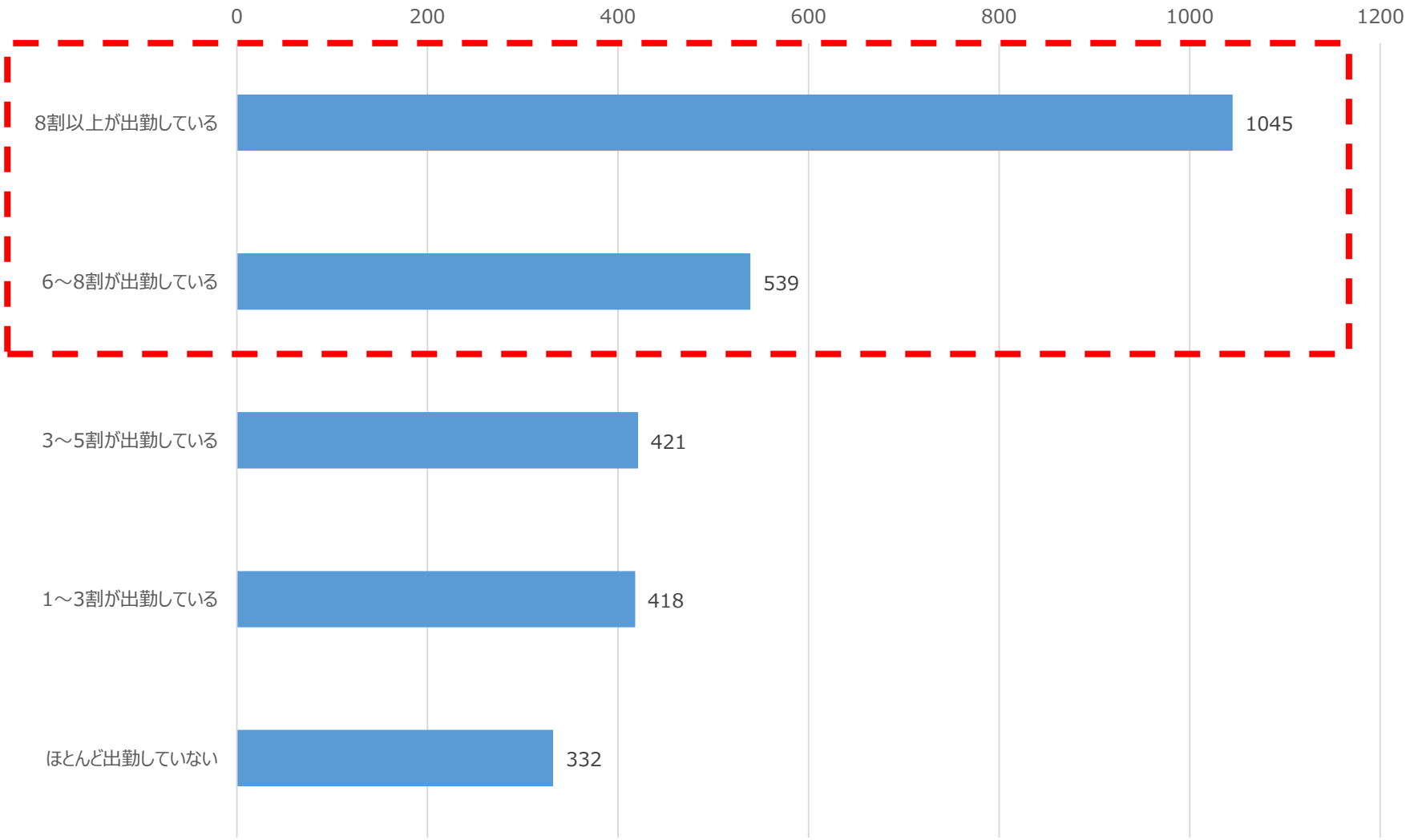
(n = 260)

○Q1において、「特に取り組んでいない」と回答した企業（260社）の時差出勤の未実施理由（複数回答）
○未実施の理由として、「業務効率の低下」「顧客等外部対応に支障がある」と回答する企業が多い。



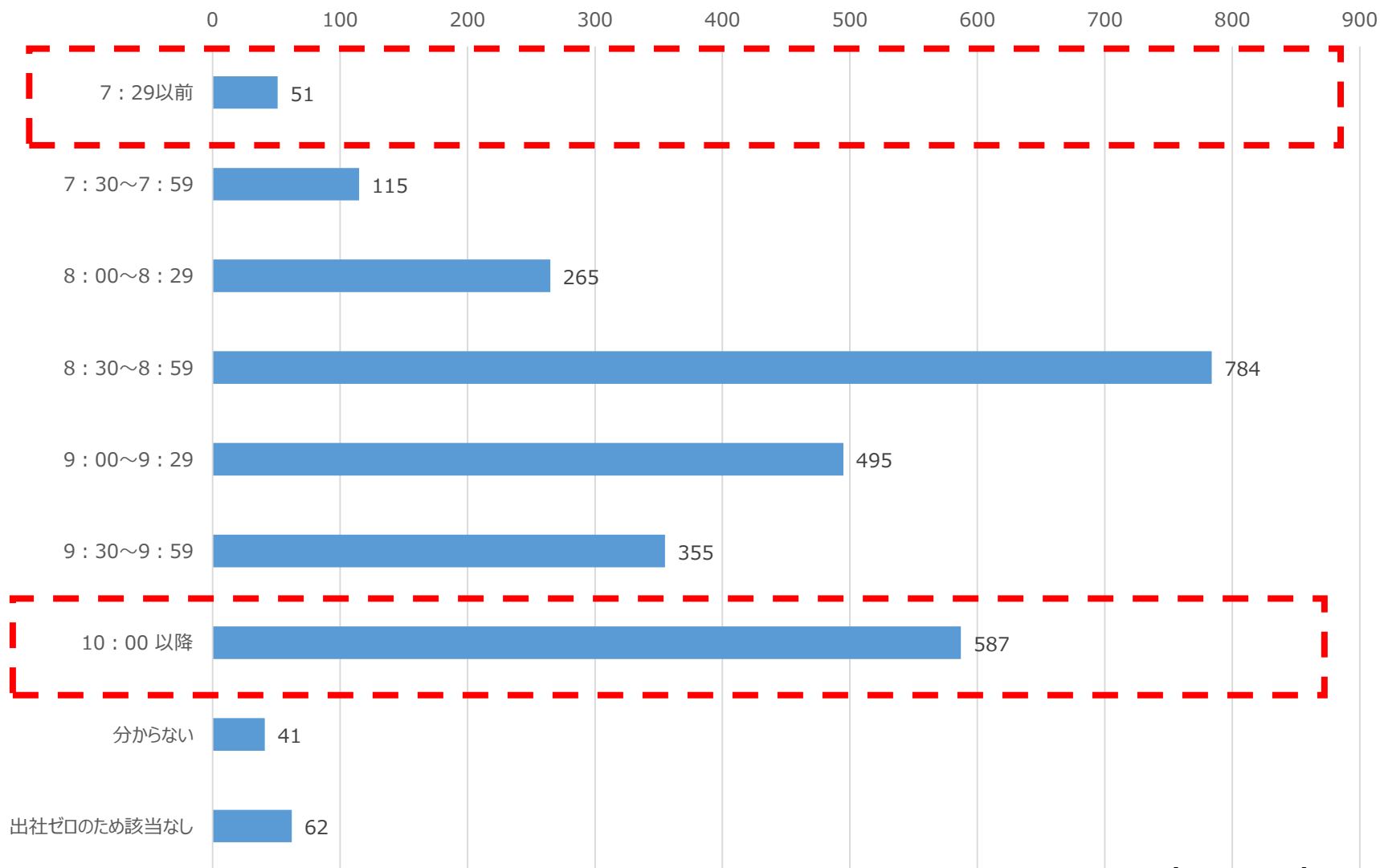
■Q4：2022年4月の従業員の出勤割合（人数規模）

○2022年4月の従業員の出勤割合。
○6割以上が出勤している企業は、全体の6割を超えている。
○一方で、ほとんど出勤していない企業が全体の1割以上存在する。



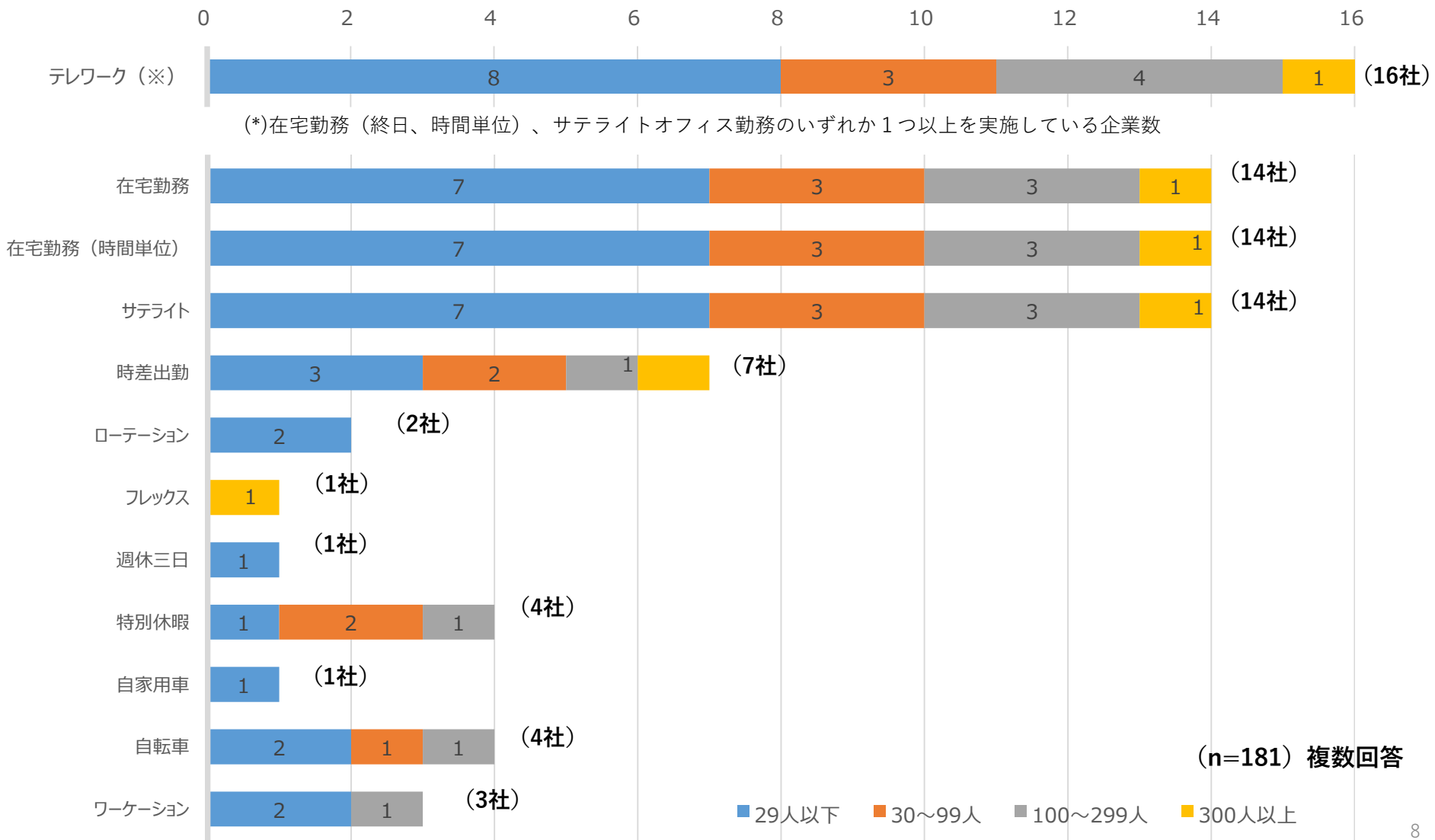
■ Q5：事業所全体で最も出社人数が多い時間帯

- 事業所全体で最も出社人数が多い時間帯。
- 「8:30~8:59」の時間帯での出社が最も多く、約5割の企業は「8:30~8:59」「9:00~9:29」に出社している。
- 「7:29以前」の時間帯よりも「10:00以降」の出社企業が多い。



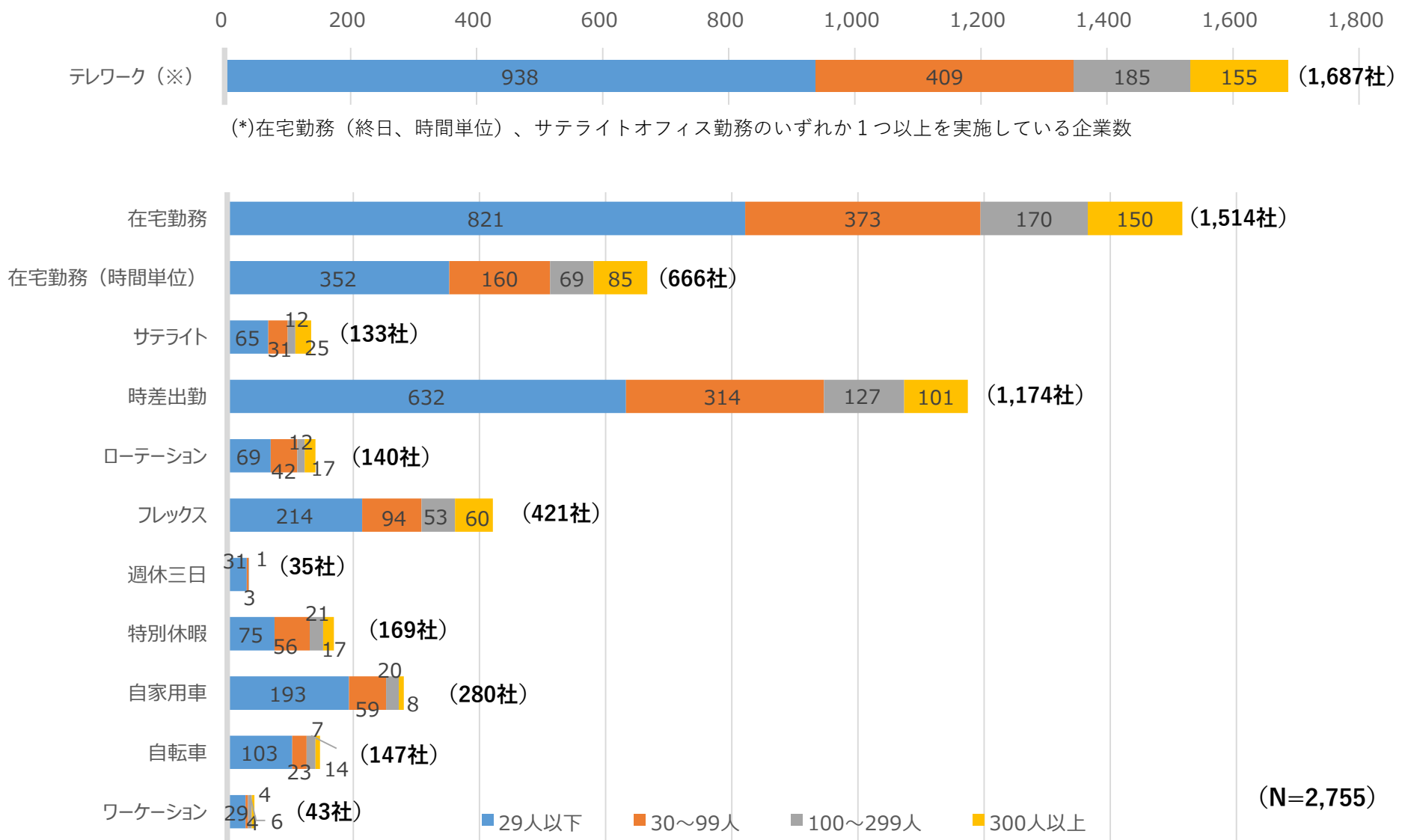
■ Q6：2022年度から新たに制度化・導入した取組

○2022年度から新たな取組を制度化・導入した企業。
 ○アンケートに回答した多くの企業は、すでに何らかの取組を実施済みとなっている。
 ○取組の中では、「テレワーク」「時差出勤」を新たに導入した企業が多いが、一部「ワーケーション」等も見られた。



■Q7：活用している制度（回答者個人について）

○アンケート回答者個人について、現在活用している制度。
 ○「テレワーク」と「時差出勤」の活用割合が高く、次いで「フレックス」広く活用されている。



■Q7：通勤方法・混雑具合（回答者個人について）

○アンケート回答者個人について、現在の通勤手段。
○「鉄道」を通勤手段としている方が約7割と、最も多い。

○鉄道で通勤している方について3月と比較した、4月の鉄道の混雑具合の感じ方。
○約7割の方が3月よりも混んでいると感じている。

